

宮 歯 発 第 407 号
令和 7年 1月30日
(学校歯科部会扱い)

各 位

一般社団法人宮城県歯科医師会
会 長 細 谷 仁 憲

**未来をつくる学校歯科保健教育” 口腔機能発達不全への新しいアプローチ”
～連携が導く子どもの健康と社会～（学校歯科部会研修会）の開催について**

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、近年増加傾向にある「**口腔機能発達不全症**」に対する、新しいアプローチに関する研修会を下記日程にて開催いたしますのでご案内いたします。

本研修会においては、予防歯科治療の最先端を常に発信し続ける第一人者として知られる、アイデンタルクリニック理事長井上敬介先生を講師にお招きし、ご講演いただきます。

お申込み方法につきましては宮歯 HP、もしくは QR コードからお申込みフォームへアクセスし手続きを行ってください。入力内容送信後、「申込受付メール」が届きますしたら受付が完了となります。メールが届かない場合や不明な点等ございましたら、宮歯事務局までご連絡ください。当日参加は原則、受け付けておりませんのでご了承ください。是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時 **令和7年3月1日（土）18時**
会 場 宮城県歯科医師会館
演 題 未来をつくる学校歯科保健教育”口腔機能発達不全への新しいアプローチ”
～連携が導く子どもの健康と社会～
講 師 アイデンタルクリニック理事長 井 上 敬 介 先生
申込方法 宮歯 HP、もしくは QR コードから
お申込みフォームへアクセスし必要項目を入力し送信



お申込み締切

令和7年2月27日（木）15時

担 当：学校歯科部会
電 話：022-222-5960
F A X：022-225-4843

【講師】

井上 敬介 先生 Keisuke Inoue DDS Ph.D.
医療法人真稜会 I Dental Clinic 理事長／歯科医師



【略歴】

1997年 東京歯科大学卒業
2003年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座助手
2005年 東京歯科大学歯科水道橋病院補綴科助手
2007年 医療法人真稜会後藤歯科医院 院長
2010年 医療法人真稜会 I Dental Clinic 院長
2023年 日本小児口腔発達学会(NPD)設立

【所属学会・資格・役職など】

日本小児口腔発達学会(NPDs) 代表理事
日本予防歯科勉強会(NPD) 代表
一般社団法人日本幼児いきいき育成協会 (JALNI) 理事
日本歯科補綴学会
日本口腔インプラント学会
日本矯正歯科学会
日本小児歯科学会
日本小児呼吸器学会
日本睡眠歯科学会

【受賞・著書・論文など】

DVD 術者の視野で見るインプラント治療 1 ～Step by Step 下顎遊離端欠損～
DVD 術者の視野で見るインプラント治療 2 ～Immediate Loading 下顎無歯顎 DVD ビデオ付～
歯界展望 108 巻 5 号 海外レポート"Oral Physician Course in Boston"への参加から得たもの / 井上敬介
補綴臨床 インプラント治療のリスクとメンテナンス/ 武田孝之・椎貝達夫・井上敬介
日本補綴歯科学会雑誌 52 巻 2 号 重度歯周病患者に対する補綴治療の 1 症例
日本歯科評論 68/10 2008 年 10 月号【特集】インプラント治療の適応を見直そう
1. 基本的な症例における留意点、下顎臼歯部欠損へのインプラント埋入における落とし穴 / 井上敬介
隔月刊「補綴臨床」別冊 インプラントのポジショニング ねらいどおりの補綴治療のために
第 2 章インプラントのポジショニング、7. 術者のポジショニングが手術に与える影響 / 井上敬介
歯界展望 117 巻 6 号 インプラント治療における CT の活用、臨床 医院継承
そしてこの先 100 年の予防中心の歯科医院作り / 井上敬介
デンタルハイジーン 32 巻 4 号 I Dental Clinic
デンタルハイジーン 34 巻 10 号 遠いようで近い存在～志を高く～
クインテッセンス 38 巻 3 号 子どもたちの健康と未来を考える歯科医療
第一歯科出版 35 巻 2 号 6.21 世紀の歯科医療は"口の健康を守り人の命を守る"から始まる「Oral Lifesaver」
クインテッセンス 気道"Airway"を診る / 外木守雄・井上敬介・筒井武男・古畑升
【監訳】眠りで子供は変わるー健康な子どもを育むメソッドー 著者 Sharon Moore 監訳 井上敬介

未来をつくる学校歯科保健教育” 口腔機能発達不全への新しいアプローチ” ～連携が導く子どもの健康と社会～

アイデンタルクリニック
理事長 井上 敬介 先生

【抄録】

現代の日本において、子どもたちの口腔機能発達不全は、単なる歯科領域の課題にとどまらず、全身の健康や社会全体の未来にまで影響を及ぼす重要な問題となっています。本講演では、学校歯科医が果たすべき新たな役割を探り、かかりつけ医、矯正歯科医との連携が生み出す可能性について考察します。

特に、矯正治療へ進む前に行うべき日常指導や食育、学校歯科保健教育の現場での実践に焦点を当てます。学校歯科医が診るべきポイントを具体的に示し、日々の診療や学校教育の中でどのように口腔機能を支援し、発達を促すべきかを分かりやすく解説します。さらに、現場での課題解決を可能にするための「多職種連携」の意義とその方法を、実例を交えながらお伝えします。

また、私が提唱する「オーラルルートセラピー (ORT)」の概念を通じ、口腔機能の発達不全がもたらす影響を理解し、その根本的な解決に向けたアプローチを紹介します。ORT は、単なる症状の改善に留まらず、根源的な原因を探り、未来を見据えた予防的介入を可能にする取り組みです。

時代は大きな変革期を迎えています。2025 年問題による社会の高齢化が進行し、AI やデジタル技術が進化する中で、医療と教育の現場における「人間らしさ」の重要性が再認識されています。合理性では測れない感性や情熱が、次世代の健康を守るカギとなるのです。歯科医師として、子どもたちの未来の健康と笑顔を守るため、今どのような行動が求められているのかを共に考えていきたいと思えます。

本講演が、宮城県歯科医師会の皆様の活動の起爆材となり、地域全体の健康を支えるための新しい一歩となることを願っています。参加者一人ひとりが、子どもたちの未来に貢献する実践的なアイデアを持ち帰れる場となるよう、情熱を持ってお話させていただきます。